

科目	単位	時間	履修学年	担当者
解剖生理学Ⅳ	1	30	1	医師、医師、医師(公益社団法人地域医療振興協会に委託)
ねらい	脳神経系、運動器系の位置、名称、構造と機能を理解し各系統の障害を学ぶ基礎とする。			
回数	授業内容			授業方法
1回目	【脳神経：講師】 1. 自律神経による調節			講義
2回目	1) 自律神経の機能			講義
3回目	2) 自律神経の構造			講義
4回目	3) 自律神経の神経伝達物質と受容体			
5回目	2. 情報の受容と処理			講義
6回目	1) 神経系の構造と機能			講義
7回目	2) 脊髄と脳			講義
8回目 (45分)	3) 脊髄神経と脳神経			講義
	4) 脳の高次機能			講義
	5) 運動機能と下行(遠心)伝導路			
	【骨格・筋肉・運動器】 (14時間)			
9回目	1. からだの支持と運動			講義
	1) 骨格とはどのようなものか (講師)			
	2) 骨の連結 (講師)			
10回目	3) 骨格筋 (講師)			講義
11回目	4) 体幹の骨格と筋 (講師)			講義
12回目	5) 上肢の骨格と筋 (講師)			講義
13回目	6) 下肢の骨格と筋 (講師)			講義
	7) 頭頸部の骨格と筋 (講師)			
	8) 筋の収縮 (講師)			
14回目	2. 体表からみた人体の構造			講義
	1) 体表から触知できる骨格部分 (講師)			
	2) 体表から触知できる大きな筋 (講師)			
15回目	3) 体表から触知できる動脈 (講師)			講義
	4) 体表から到達できる静脈 (講師)			
16回目 (45分)	終講試験			試験
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能① 解剖生理学 (医学書院)			
評価方法	筆記試験 (1時間 [45分間] : 講師 (50点)、講師・講師合わせて (50点))			
備考				